

## フレー！フレー！ミャンマー

国際交流基金ヤンゴン日本文化センター  
小松原 奈保、雄谷 マユミ、植田 一栄

ここ数年、ミャンマーでは日本語を学ぶ人が急増しました。2024 年に行われたミャンマーの日本語能力試験応募者数はなんと約 18 万人！その学習者のほとんどが、就労や留学で日本へ行くことを希望しています。日本を夢見て厳しい環境下で日本語を学ぶ彼らを応援するために、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター（以下、JFYG）ではさまざまなイベントを企画・運営しています。

### 経験の浅い教師を応援！

ミャンマーでは急に学習者が増加したため、まだ教授経験の浅い教師が初級の授業を担当しています。そこで、彼らが自信をもって日本語を教えられるように「日本語初級教授法コース」を実施しました。

コース前半では初級に必要な音声や文字の指導法、初級の授業の流れについて学びました。コース後半では講義で習ったことを使い、グループに分かれて模擬授業をデザインしました。授業準備では、停電で電気やインターネットが繋がりにくい中、グループで協力して模擬授業の準備をすることで学校の枠を超えた仲間を作ることができました。そして迎えた模擬授業では、お互いの授業を体験し合い、授業をよりよくするために活発な意見交換がなされました。満足のいく授業ができなかったと話していたけれど、自分たちの授業をしっかりと振り返って反省できる彼らのこれからの成長がとても楽しみです。

ここで学んだことを日々の授業に生かして、今度は受講生のみなさんが厳しい環境で学ぶ学生たちの応援団になってくれることでしょう。

### いろどり先生を応援！

ミャンマーでは就労目的で日本へ渡る学習者が多いので、JFYG では日本での生活に役立つ教材『いろどりの生活の日本語ー』（以下、『いろどり』）を使って教えられる教師の育成を重要視しています。そこで、『いろどり』の考え方・教え方を理解して授業が行える教師を育成することを目的に「いろどり教師養成コース」を実施しました。

前半はいろどり授業を体験してもらい、グループで感想を話し合いました。次に挑んでもらったのは模擬授業です。時間配分がうまくいかず話す活動がおろそかになったり、別の活動にアレンジしてしまう人もいましたが、やってみることで多くの気づきを得たようです。皆、口々に「リベンジしたい！」と悔しがっていたのが印象的でした。後半の会話テストでは 2 人 1 組のテスターを設定し、学生役のスタッフとロールプレイテストを行いました。テスターとしてチェックポイントを引き出す難しさや、パートナーとの評価のすり合わせと、初めての体験に戸惑いながらも果敢に

挑戦してくれました。意外だったのは、「難しかった」という感想よりも、「学校でも取り入れてみたい」「会話テストはできないと思っていたが自信がついた」という声の方が多かったことです。やって良かったと感じた瞬間でした。最後のコース設計でも実践ですぐに使える具体例が挙がるなど、受講生が着実に『いろどり』の教え方を習得していることに気づかされました。

今回は無事、全員が修了となりましたが、受講生にとってはこれからが本当の意味での「いろどり先生」としてのスタートとなります。学習者のコミュニケーション力をあげるために、いろどり先生たち、がんばれ！



会話ロールプレイトテストを体験！

## 日本語学習者を応援！

JFYGではミャンマーの学習者を応援するために、日本語の楽しさに触れ、モチベーションをあげるためのイベントを開催しています。日本人と直接日本語で話す機会を提供する「にほんごお話し会」に加え、本年度は新たに「いろどり日本語オンラインコースイベント」、「ワクワク日本語」、「すらすら多読会」を開始しました。

「いろどり日本語オンラインコースイベント」は主に独学で日本語を学ぶ学習者を対象に国際交流基金の開発したいろどり日本語オンラインコースを使ってみるイベントです。会場で初めて会った学習者が連絡先を交換し、友達になる交流の場でもあります。

「ワクワク日本語」は国際交流基金が開発した「エリンが挑戦！にほんごできます。」や「アニメ・マンガの日本語」、「ひきだすにほんご」などのコンテンツをゲームを交えながら楽しく使ってみるイベントで、主な対象はミャンマーで急増している初級レベルの学習者です。参加者は文字通り「ワクワク」しながら日本語の世界を楽しみます。

「すらすら多読会」は「ワクワク日本語」とは対照的に、参加者が自分の好きな本を選んで静かに読むイベントです。日本語の本の世界に入り込む楽しさにハマった人がリピーターとなり、回を追うごとに参加者が増えています。

これからも JFYG はミャンマーの教師や学習者のみなさんに寄り添ったセミナーやイベントを実施することでミャンマーを応援していきます。フレー！フレー！ミャンマー！



クイズの答えは何番？

以上

## 【派遣先機関の情報】

### 派遣先機関名称

---

[国際交流基金ヤンゴン日本文化センター](#)

The Japan Foundation, Yangon

### 派遣先機関の位置付け及び業務内容

---

2019 年に開設された国際交流基金の海外拠点のひとつで、ミャンマー日本語教育界のハブ機関としての機能を担っている。対面またはオンラインで日本語教師を対象とした日本語初級教授法コース、定期勉強会、いそどり普及活動などを行なっている。また、日本語学習者を対象に、お話し会やワクワク日本語、多読などのイベントを実施するほか、日本語学習の入り口となる文化紹介などの直接支援活動も行っている。その他に、在ミャンマー日本国大使館と協力して日本語スピーチコンテスト、日本文学翻訳コンテストなども実施している。

### 国際交流基金からの派遣者数

---

上級専門家：1 名

専門家：2 名

生活日本語コーディネーター：1 名

### 国際交流基金からの派遣開始年

---

2019 年